

|        |   |      |     |
|--------|---|------|-----|
| 登録日時   | 2009 7/27   | 登録番号 | 025 |
| 行動チーム名 | 水ファイナンス チーム   |      |     |
| 行動主体   | 野村証券株式会社<br>(代表 IBビジネス開発部 池田誠、Tel.03-3275-9317、ikedai-0b25@jp.nomura.com)<br>株式会社野村総合研究所 インフラ産業コンサルティング部<br>株式会社三菱東京UFJ銀行 CIB 推進部   |      |     |
| 行動内容   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「チーム水・日本」は、成長する水ビジネス市場における日本のポジションを高めるため、多くの行動チームが活動している。今後、それらの活動が具体化するにつれて、資金調達上の課題が高まっていくことが考えられる。</li> <li>・ このようなか、「水ファイナンス チーム」は、特にファイナンス面における水ビジネス活動の支援を行い、もってわが国の水ビジネスの成長を支えていくことを目的としている。</li> <li>・ 本チームの活動内容としては、以下の4点が考えられる。           <ul style="list-style-type: none"> <li>①水ビジネスに関するファイナンス機能の研究活動</li> <li>②各行動チームとのファイナンスに関する意見交換</li> <li>③案件形成時におけるファイナンス面からのアドバイス</li> <li>④金融機能の実行(コーポレート、プロジェクト・ファイナンス、投資ファンド組成等)</li> </ul> </li> </ul>   |      |     |
| 課題分析   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「チーム水・日本」は、成長する水ビジネス市場における日本のポジションを高めるため、多くの行動チームが活動しているが、活動が具体化するにつれて、事業資金等の需要が高まっていくことが考えられる。</li> <li>・ 日本版水メジャーの創設も期待されているが、欧州水メジャー(ヴェオリア、スエズ)、GE、シーメンス等の総合電気系企業の水分野の参入、シンガポール、韓国、スペインといった国家戦略による参入のどれをみても、強力な資金調達力を有していることが大きな特徴である。</li> <li>・ そのため、日本版水メジャーの創設や海外進出時において、わが国の企業においてもファイナンス機能の充実を図っていくことが課題と認識している。</li> <li>・ 特に、水ビジネスにおける資金需要の特徴としては、長期のファイナンスが必要なケースが多く、そこには年金資金等の長期投資に適合する投資家を募ることが有用である。また、海水淡水化プラントに見られるように莫大な資金が必要となれば、コーポレートの調達以外にもプロジェクト・ファイナンスによる資金調達も視野に入れた多様なファイナンス手段を持つことが重要である。</li> <li>・ このような水ビジネスに関わる様々なファイナンスニーズに的確かつ迅速に対応するような機能をもつファイナンス支援のチームを組成することによって、わが国の水ビジネスが持続的に成長していくための基盤を築いていくことが必要である。</li> </ul> |      |     |
| 留意事項   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水ビジネスの海外展開のみならず、国内における技術開発の支援、水資源に関するビジネス開発についても幅広く対応していくことを想定している。</li> </ul>   |      |     |